

六大都市二特別市制實施ニ關スル法律案特別委員會議事速記録第三號

第六十四回
帝國議會院
貴族院
六大都市二

昭和八年三月二十二日(水曜日)午後一時

○委員長(侯爵大久保利武君) ソレデハ是ヨリ開會イタシマス

○子爵大河内輝耕君　此少年教護法案ヲ一
番先キニシテ宜シウゴザイマスカ

○委員長(侯爵大久保利武君) ドウカサウ

○子爵大河内輝耕君
此法案ニ對スル司法

大臣の御意見伺ひ外に有シマス

ノ御質疑ニ對シテ御答へ致シマスガ、此少
年教護法案ハ感化法ヲ改正シヤウトスルモ

ノデアリマシテ、ソレニ依ッテ不良少年ノ
故蓮ノ完全トランクヤウ、云フゾダアリマ

スカラ、趣旨ニ於テハ決シテ兎ヤ斯ウ申ス

ノデアリマス、デ本案ガ曩ニ衆議院ニ提出

セテレマシタ時ニハ、現行少年法ノ領域ニ
關スル事項ガ規定シテアリマシテ、司法當

員會ニ出席シテ、賛成シ難イト云フコトヲ
局ハ意見ヲ求メラレマシタノデ衆議院ノ委
述ベタノデアリマス、其後大分改正ニナリ
マシテ、只今御審議ニナツテ居ル ヤウナ案

ニ變フテ居ル譯デアリマス、併シマダ不完全
デアルコトヲ免レナイノデアリマスカラ、
此案ニ對シテ司法當局トシテドウ云フ意見
ヲ有フテ居ルカト云フ御尋ガアリマスカル、
贊成イタシ兼ネル、詰リ反對デアルト申上
ゲネバナラヌノデアリマス、其理由ヲ簡單
ニ申上ゲマスガ、御承知ノ通り感化法ハ明
治三十三年ノ制定ニ係フテ居リマシテ、感化
法ノ實施ノ成績ニ鑑ミマシテ、感化院長ノ
爲ス教育以外ニ他ニ適當ノ保護處分ヲ施ス
必要ヲ生ジマシテ、政府ハ現行ノ少年法ヲ
制定イタシマシテ、十八歳ニ満タザル者ノ
保護處分ヲ司法大臣ノ監督ニ屬スル少年審
判所ヲシテ審判セシムルト云フコトニ致シ
タノデアリマシテ、是ハ御承知ノ通リデア
リマス、サウシテ審判所ノ審判官ト云フモ
ノハ司法官ヨリ採用スルコトト致シマシテ、
又少年法ニ規定シテ居ルガ如ク判事ヲシテ
之ヲ兼ネシムルコトヲ得ル規定モ置イテア
ルノデアリマス、是ハ歐米ノ少年裁判所ノ
成績極メテ良好ナルニ鑑ミテ、大體ニ模
倣シタ譯デアリマスガ、歐米ノ近頃ノ法制
ニ依リマシテモ、不良少年ハ成ルベク行政
廳ヲシテ是ガ處分ヲ爲サシメズシテ、裁判
所ヲシテ處理セシムル傾向ニナツテ來テ居
リマス、是ハ一つハ人權……少年ト申シマ
シテモ要スルニ人權ノ問題ガアリマスカラ、
シテハアリマスルガ、少年ノ有スル財產管
理ニ關係ノアル問題デアリマシテ、歐米ノ
法制ハ少年ノ處置ニ對シテハ非常ニ慎重ナ
態度ヲ執フテ居ルヤウデアリマス、デ少年法
ガ立法ノ際法律取調委員會デ審議セラレマ
シタ際ハ、内務當局モ之ニ關與イタシマシ
テ、少年法ト感化法トハ兩立シテ其成績ヲ
擧ゲルト云フコトニ致シマシテ、互ニ其領
域ヲ守フテ相侵サナイト云フ協議ヲ遂ゲマ
シテ、少年法施行ト共ニ、御承知ノ如ク感
化法ハ大正十一年ニ五條、六條、ソレカラ
附則等ヲ改正イタシタ譯デアリマス、ソレ
デアリマスカラ、感化法ノ改正デアリマス
ル少年教護法ナルモノハ、現行ノ少年法ノ
領域ニ故障ヲ生ゼナイ程度ニ於テ改正スル
ガアリマスガ、是ハドウモ感化法ノ本質ト少
ナル他ノ施設……施設ト云フノハドウ云フ
場所カ分リマセヌガ、感化院外ノ施設ニ委託
ヲスルトカ、家庭ニ委託ヲスルトカ、ソレカラ
少年教護院ノ監督ニ付スルト云フヤウナ規定
シ違フヤリ方デヤナイカト斯ウ云フ風ニ考ヘ
テ居リマス、ソレカラチヨット御話モ出マ
シタカラ極ク重要ナ分ダケ申上ゲマスガ、
本案ノ規定ガ不完全ダト申シマスル一二ノ
點ヲ指摘シテ申上ゲマスト、第八條ノ第一
項ノ規定ヲ見マスルト、地方長官ガ少年教
護院ニ入院セシムル所ノ少年ハ、不良少年

第一條ヲ見マスト、「本法ニ於テ少年ト稱スルハ十四歳ニ満タザル者ヲ謂フ」トアリマシテ、第八條ノ第一項第一號ニハ不良少年ガ書イテアリマス、又二號ニハ「少年ニシテ親權者又ハ後見人ヨリ入院ノ出願アリタル者」トアリマスカラ、親權者又ハ後見人力入院ヲ出願シテ來マスト、地方長官ハ入院セシメナケレバナラヌコトニナル、是ハドウモ甚ダ了解ニ苦シム規定ナンデアリマス、親權ヲ行フ者ガ、詰リ後見人ガ感化院ニ入レテ吳レト言ヘバ入レナケレバナラヌト云フノハドウ云フ譯デアリマスカ、現行法ハ其必要ノ有無ヲ地方長官ガ認定スル規定ガアリマスケレドモ、マアサウ云フコトハナイノデアリマス、元來此實際ノ事情ヲ申上ゲマスト、私ハ感化院ニハ少シ關係ガア、テ内情ヲ能ク知テ居リマスガ、親權ヲ行フ母トカ後見人ガ其少年ヲ感化院ニ入レル場合ニハ中ミ弊害ガアルノデアリマス、其子供ヲ家ヘ置キマスト、マア少シ言ヒニクイ言葉デスガ、品行ノ宜ロシカラザル母親或ハ後見人ガ何カ或ル考ヲ持テ居リマスト、感化院ニ子供ヲ入レテシマウト云フヤウナコトヲスルノデアリマスカラ、是ハ多々サウ云フ例ガアル、ソレガ爲ニ親族間

ス、斯ウ云フ規定ハ餘程考慮ヲ要スルモノ
デ、少年ニシテ親權者又ハ後見人ヨリ入院
規定ハ如何ナモノデアラウカト思フノデア
リマス、ソレカラ第九條ノ一號「性狀特ニ
ノ出願アリタル者ハ良不良ヲ問ハズト云フ
不良ニシテ地方長官ヨリ入院ノ申請アリタ
ル者」、是ハ内務大臣ノ權限ニ屬スル、斯ウ
云フ者ハ教護院ニ入レル者デアリマス、是
ハ民法第八百八十二條ノ規定ニ依リマスト、
是ハ親權ヲ行フ父又ハ母ハ其子ヲ裁判所ノ
許可ヲ得テ懲戒場ニ入ルコトヲ得トアル
ノト、教護院ト云フノハ感化院ノ中デモ少
シ不良性ガ強イ者ガ這入ル場所ニナフテ居
リマス、民法デヘ裁判所ノ許可ヲ得ナケレ
バナラヌ、許可ヲ得テ懲戒場ニ入レル、此
懲戒場ハ今日ノ感化院、矯正院ノヤウナモ
ノニ當ルト云フコトハ疑ヒナイ、是ハ刑法
施行法ノ規定カラモ此點ハ明瞭ニナフテ居
リマスカラ、元ノ懲治場ト云フノハ感
化院、矯正院デアリマス、是モ地方長官ガ
入院ノ申請ヲスレバ内務大臣ガ入レルト云
フコトハ民法ノ第八百八十二條ノ規定ト此
點ハ少シク抵觸スル譯デアリマス、ソレカ

機關ヲ設置スル、是ハマア道府縣ガ設置スルノデアリマスガ、是ガ見様ニ依ルト少年審判所ノヤウナモノニナフシマウ、衆議院デ説明ヲ承リマシタガ、少年鑑別所トアリマシタガ、ドウ云フコトヲスルカト云フナラバ、醫者又ハ、心理學者等ニ少年ノ良不良、マア主ニ不良性ヲ調査セシメルト云フコトデアリマス、少年ノヤウナ此殊ニ敏捷ナモノヲ、醫者ダノ心理學者ガ見テ果シテ分ルカドウカ疑ヒガアル、眞ニ見ヤウトスレバ或ル期間其處ニ留メテ置イテ其行狀ヲ視察スルト云フコトヲシナケレバナリマセヌカラ、是ハ何レナンカ勅令其他ニ依テ細カイコトヲ決メル趣意デアリマセウガ、少年鑑別機關ト云フモノガ甚ダドウモ瞬昧ナモノデアル、斯ウ云フコトヲ法律デ設ケルト云フコトハモウ少シ考ヘナケレバナラヌコトト思フノデアリマス、ソレカラモウ一つハ、第六條ノ少年救護ノ爲ノ少年救護委員、是ハ少年救護法ト云フモノヲ廣ク少年救護ニ對シテ仕事ヲスルモノノダト解スレバ斯ウ云フモノハ必要ガアリマセウガ、少年救護委員ト云フモノヲ置イテ、サウシテ少年ノ教護ニ從事セシメル、又保護監督モサセルト云フヤウナコトハ、是ハ少年法デヤル行爲ヲ感化

リマス、其他細カイ規定ガアリマスケレドモ、大體主ナル所ハ右ノヤウナ點ガ此教護法案ノ骨子デアリマスガ、何レモ是ハ研究ヲ要スルコト思フノデアリマス、餘程調査ヲシテ此法案ハモウ少シ條文其他ヲ整理シマセヌト不完全タルヲ免レナイト私ハ考ヘテ居リマス

○松村義一君 只今司法大臣カラ色ミ御話ヲ承フタノデゴザイマスガ、第一ニ御尋ネ致シタイノハ、衆議院ノ少年教護法案ノ委員會ニ於テ司法大臣ガ御述べニナフタコトガアルノデアリマス、ソレヲ見ルト其時ハ只今ノ衆議院ニ可決サレタ法案ト違フテ、モウ少シ原案ハ變フテ居ルヤウデアリマスガ、其案ニ對シテ御話ニナフタ所ハ大體ニ於テ十八歳未満ノモノヲ、十四歳以上ニシテ十八歳未満ノモノハ少年法デ取扱フ、ソレヲ教護法案ニ依レバ少年教護法ニ依フテ取扱ハムトスル、ソレガ要スルニ少年法ヲ侵カスモノデアルト云フコトヲ述べテオイデニナルヤウデアリマス、其外ハ別ニ反對ニナ、テ居ルノデスガ、若シモ斯ウ云フ御意ラヌ、只今改メテ色ミ各事項ニ亘ツテ御話ノコトニ付テ色ミ具體的ニ御話ニナフテ居

見ガアタトシタナラバ、何故ニ衆議院ノ委員會デ御説明ニナラナカッタノデアリマセウカ、衆議院デ御説明ナクテ唯貴族院ノ委員會ニ於テ御説明ニナルト云フコトハ、政府當局トシテハ誠ニ此條文ノ審議ニ對シテ不親切デアルノミナラズ、一ノ議會デ以テ同ジコトヲ述べナイト云フコトハ甚ダ議員ガ事ヲ審議スル上ニ於テ、非常ナ惡イ結果ヲ生ジマスト思ヒマスガ、ソレハドウ云フ譯デゴザイマスカ、其點ヲ先づ伺ヒタイノデアリマス

○國務大臣(小山松吉君) 御答へ致シマスガ、衆議院ノ委員會ニ於テハ、私ハ主トシテ此十八歳未満ノモノヲ少年教護法ニ於テ處理スルト云フ、少年教護法案ノ元ノ案ノ第一條第二項ニ付テ反対イタシマシタ、是ハナントシテモイケナイ、ソレガ速記録ニ出テ居ルノデアリマセウ、ソレカラ色ニ話合ヒマシテ懇談ラシタノデアリマス、ソレカラ只今申シマシタ少年鑑別所、是モ私ハ速記録ニ書イテアルカドウカ知リマセヌガ、是モ以テノ外ト云フコトモ言フテ居ルノデアリマス、實ハ私ノ今述べタコトハ新シイコトデハナク、皆衆議院ノ委員諸君ハ御承知ダラウト思フ、感化院長ガ數名面會ニ來マシタ時モ私ハ同ジヤウナ趣意ヲ話シタ、

要スルニ感化法ト少年法ト兩立スルヤウナ案デアレバ決シテ自分ハ彼是レ言フベキデハナイ、感化法ノ改正ト云フ範圍ニ於テ少年ノ教護ガ出來ルヤウナ案ナラバ至極結構ダト云フコトヲ私ハ申述べテ置イタノデアリマス、ソレカラ今新タニ申シマシタコトハ、サウ云フコトニナリマシタガ、今度改正シタ文字ニ付テ私ハ説明シタノデアリマス、第八條デアリマスガ、第八條ニ元ハ唯ハ」ト第八條第一項ヲ衆議院デ修正シタノ「少年ニシテ」トアタノヲ、「不良行爲ヲナシ又ベナケレバナラナカッタガ述べラレナカッタノデアリマスガ、衆議院デハサウ云フ規定ガナカッタノデアリマス、ドウゾ御諒承願ヒタイ、特ニ衆議院デ黙テ、此處ニ來テサウ云フコトヲ申述べルノデハアリマセヌ、衆議院ノ委員諸公ハ今ノ私ノ趣意ハ能ク了解イタシテ居リマス

○松村義一君 サウ云フ大臣ノ御話ナラバ更ニ衆議院ノ委員ニ聞カナケレバ分ラヌ、兎ニ角公式ニ現レタ委員會ノ速記録ヲ見ルト先程私ガ申上げタコトシカ司法大臣ハ御話ニナツテ居ラヌ、或ハ懇談デドウ云フ御話ガアタカ、ソレハ結局我ミノ全ク御伺ヒスルコトガ出來ナイ、從テ私共ハ速記録ニ依

テ判断シナケレバナラヌ、サウ云フ速記録ニ依ルト、只今ノ御話ニナツタコトハ全部外ガ知ツテ居ルカドウカ別デスケレドモ、大臣トシテハ御話ニナツテ居ラヌコトハナイ、新タニ改正サレタモノニ付テ御話ガナカッタ云フノデアリマスガ、先程ノ御説明ニモ存ゼマセヌケレドモ、元ミ教護法ガ出来タ元ノ原案ニ付テハ御話ノコトガ大部分デハナイカト思フ、寧ロサウ云フ御考ガアタナラバ先づ審議サレタ衆議院ニ於テ詳シク御述ベニナツテ、衆議院ニ於テ十分ノ審議ヲ加ヘサセテ戴クト云フコトガ當然取ラルベキ態度デハナイカト思ヒマス、國務大臣ガ今ニナツテ、私共今ニナツテト申上ゲル外ナイ、サウ云フコトヲ仰シヤルト、甚ダ御態度ニ對シテ恐縮デゴザイマスケレドモ、誠ニ遺憾ノ意ヲ表セザルヲ得ヌヤウナ感ガ致スノデアリマス

○國務大臣(小山松吉君) 色ニ御意見デア

贊否ノ意見ハ述べテ居ナカッタヤウニ私ハ承ハッテ居リマスルシ、ソコデ司法大臣ハ少年

法ト關係ガアルカラデアリマセウ、ドウ云フ考ガアルカト云フテ呼バレタノデアリマス、呼バレマシタ時ハ其時ノ質問者ノ趣旨ナリ又ハ必要ト認メルダケンカ私ハ申上ゲル必要ハナイト思フテ居ラヌテ申上ゲタノデアリマスガ、只今申上ゲマシタ通り私ノ意見ハアノ通リトチトモ變テ居リマセヌ、是ハナラバ先づ審議サレタ衆議院ニ於テ詳シク私ハ面會ニ見エマシタ感化院長其他モ略、知ツテ居ル譯デアリマス、委員會ノ速記ノ場合ハ質問ガアリマシタカラソレダケノコトヲ御答ヘシタ、殊ニ此第一條ニアリマシタ十八歳未満ト云フコトハ全ク私ハ法律上ノ抵觸ガアルト認メテ、其事ヲ述べマシタ、是ハ修正サレテ附則ニ這入ラタ、ソレデアリマスカラ只今十八歳云ミノコトハ何ントモ申上ゲズニ置イタ譯デアリマス

○松村義一君 感化院ノ連中ガ來タカラ話ヲシタ仰シヤル、ソレハドウ云フコトヲ御話ニナツタカ分ラヌ、其事ハ議會以外デ御話ナサルコトハ何ノ值打モナイ、效モナイ

ノデス、唯大臣ノ所ヘ密カニ尋ねマシタ者

ノデス、唯大臣ノ所ヘ密カニ尋ねマシタ者

ダニ何ヲ御話ナス、所デ何ノ效モナイ、

兎ニ角衆議院ノ委員會ニ於テ審議サレタ先

ヅ其際ニ十分ニ意見ノアル所ヲ御述ベニナ

ルト云フコトハ、是ガ憲政ヲ運用シテ行ク
最モ必要ナルコトデハナイカ、其前ニ幾ラ
御面會ナサフテモ何等理由ヲナサヌト思フ、
サウシテ私ハ今ニ於テ初メテ公式ノ御話ヲ
承フタ、斯ウ申上ゲルコトハ我ミ議會ニ於
テハ當然サウ申上ゲルヲ得ナイコトデハ
ナイカト思フ、衆議院ニ於テハ以前御話ナ
スマタカラ御話ナス、タコトニ付テ審議ス
ル、又貴族院ニ於テハ達ツタ所ヲ審議スル
ト云フコトニナルト、議會ハ何ニ依テ審議
スルカ審議ニ迷ハザルヲ得ヌ、其點ニ付テ
甚ダ遺憾ノ感ジヲ持テ居リマスガ、先ヅ其
事ヲ能ク申上ゲタイ

○岡喜七郎君 一昨日開カレマシタ委員會
デ、内務省及ビ司法省ノ政府委員ノ大體
ノ御説明ヲ拜聽シマシタ所ニ依ルト、内務
省ノ政府委員ニ於カレテハ比較的完全トハ
云ヘナイガ、大分進歩シタ法案デアル、此
少年教護法ハ唯若干ノ經費ノ増加ト云フコ
トガアルカラ、直ニ事務的ニ之ヲドウ云
フ風ニスルト云フコトモ自分デハ云ヒ兼不
ルガ、法案ソノモノトシテハ今日ノ感化法
ヨリハ餘程内容ガ完備シタ案ト考ヘテ居
ル、大體斯ウ云フ御説明デゴザイマシタ、
ソレカラ司法省ノ政府委員ニ於カレマシテ
ハ、今日ノ感化院法ニ於テモ十分ニ研究ノ

餘地ガアル、又研究シナケレバナラヌ、何
トカ完全ナ法案ニシタイト云フ研究ヲシテ
居ルト、其點ガ尙ホ研究ガ届カヌ爲ニ今直
ニ本案ニモ贊成ガ出來ナシ、マア斯ウ云フ
ラ承ハル所ニ依リマスト色ミナ箇所ニ互々テ
實ハ御説明デアッタノデアリマス、今大臣カ
夫ニ御解釋ナリ、又立法ノ方カラ御見解ヲ
御有チニナフテ居ルヤウデアリマスガ、私共
ハ今日ノ社會狀態ノ極メテ面白カラザル時
代ニ遭遇イタシテ居リマスルカラ、斯ウ云
フ法案ハ多少ノソコニ不完備ナ處ガアッテ
モ、一方デハ進歩シテ斯ウ云フ不良少年ヲ
感化シ、及シテハ所謂國民思想ノ善導ニ御
留意ガ願ヒタイ、又サウデナケレバナ
ラナイモノデアルト云フ深ク實ハ信念ヲ
有テ居ル結果、直ニ此法案ヲ今此處
デ政府ハ御同意ニナフテ御裁可ニナル
手續ガ若シムヅカシイトスレバ、一日モ
早ク御取計ガ願ヒタイト云フ意味ニ於テ、
假ニ此法案ニ多々不備ノ點ガアルトシマシ
テモ、急速ニ一ツ……而モ衆議院デハ熱心
ニ研究シテ此法案ガ審議サレテ、今亦茲ニ
廻テ此委員會ニ於テモ、思フニ、出來マス
ナラバ斯ウ云フモノハ一日モ早ク立法ノ形
式ヲ採リタイト云フ御考ヲ御有チニナフテ、
委員諸君ハ居ラレルノダラウカト密カニ考
ヘヌモノデアラウカ、之ヲ一ツ兩省大臣ノ
御意向ヲ承テ見タイト實ハ考ヘル、其外
ニモアリマシタガ、自分ニ於テサウ云フ意
見カラ一應大臣ノ御出席ヲ煩ハシタヤウナ
次第デアル、事實ニ於テ申上ゲテ御考ヲ承、

夫ニ御解釋ナリ、又立法ノ方カラ御見解ヲ
御有チニナフテ居ルヤウデアリマスガ、私共
ハ今日ノ社會狀態ノ極メテ面白カラザル時
代ニ遭遇イタシテ居リマスルカラ、斯ウ云
フ法案ハ多少ノソコニ不完備ナ處ガアッテ
モ、一方デハ進歩シテ斯ウ云フ不良少年ヲ
感化シ、及シテハ所謂國民思想ノ善導ニ御
留意ガ願ヒタイ、又サウデナケレバナ
ラナイモノデアルト云フ深ク實ハ信念ヲ
有テ居ル結果、直ニ此法案ヲ今此處
デ政府ハ御同意ニナフテ御裁可ニナル
手續ガ若シムヅカシイトスレバ、一日モ
早ク御取計ガ願ヒタイト云フ意味ニ於テ、
假ニ此法案ニ多々不備ノ點ガアルトシマシ
テモ、急速ニ一ツ……而モ衆議院デハ熱心
ニ研究シテ此法案ガ審議サレテ、今亦茲ニ
廻テ此委員會ニ於テモ、思フニ、出來マス
ナラバ斯ウ云フモノハ一日モ早ク立法ノ形
式ヲ採リタイト云フ御考ヲ御有チニナフテ、
委員諸君ハ居ラレルノダラウカト密カニ考
ヘヌモノデアラウカ、之ヲ一ツ兩省大臣ノ
御意向ヲ承テ見タイト實ハ考ヘル、其外
ニモアリマシタガ、自分ニ於テサウ云フ意
見カラ一應大臣ノ御出席ヲ煩ハシタヤウナ
次第デアル、事實ニ於テ申上ゲテ御考ヲ承、

マスガ、併シサウムヅカシイ、是ガ政治的
ニ非常ナル問題ヲ多々含ンデ居ルト云フコ
トデモナシ、前ニ申シマス通りニ社會ノ狀
態ハ日ニシテ、危險ナル思想ガ瀰漫シテ居ル
際デアリマスカラ、斯ウ云フ不良ナル少年
ヲ感化ヲスルガ爲ニハ、多少ノ無理ガアラ
ウトモ、又イロ／＼権利義務等カラ申シマ
スレバ、司法的ニ見テ多少故障ガアルニシ
ト云フコトヲ大體承ツタノデスガ、其御意見
私一個ハデス、司法省ニ於テ御意見ガアル
ト云フコトニ付テ、モウ少シ能ク御尋ネヲ
ガ已ムヲ得ザルモノデアルカドウデアルカ
致シテ見テ、サウシテ本當ニ我ミガ兩方、
司法省ト内務省ト妥協ガ出來ナイト云フコ
トガ能ク了解ノ行ク程度ニ、モウ少シ審議
ヲ致シタイ、殊ニ私ガ先程申シマシタ通
り、司法省デ、而モ大臣カラ如何ニモ衆議
院デ申サレナイコトヲ貴族院デ初メテ御話
ニナルト云フ其御心事ヲ實際私ハ非常ニ遺
憾ニ思ヒ、了解ニ苦シニ居ルノデアリマス
ガ、モウ少シソレガ果シテドンナモノデア
ルカト云フコトニ付テ、能ク御尋ラシテ明
カニ致シタイ、私ハサウ思フ、唯明年ニ御
出シニナルト云フコトデ、ソレノ御言明ヲ
得レバソレデ宜カラウトハ私ハドウモ考ヘ
ラレナイ、從テモウ少シ質問ヲ續ケサシ

テ戴キタイト云フコトヲ希望イタシマス

○委員長(侯爵大久保利武君)　君ニ御諮詢致シマスガ、今ノ大臣ノ御答辯ハモウ少シ後ニナツテモ宜イノデスカ

○岡喜七郎君 尚ホ質疑ノアリマスコトハ私モ承リタイト思ヒマスカラ、決シテ彼はレ異議ハ申上ガマセヌ

○國務大臣(小山松吉君) 只今松村君ノ御話ノアリマシタ度ミ私ガ衆議院デ申述ベナカタコトヲ、新タニ貴族院ノ委員會ニ於テ初メテ申述ベタヤウナ御意見ガゴザイマシタガ、私ノ此本法ガ不完全ナリトシテ理由ヲ述べマシタノハ、初メハ衆議院デハ先ツキモ申上ゲマシタヤウニ、第一條ガモウ到底トシテ申シタ譯デアリマス、所ガ第一條ノ第二項ヲスカラリ削テシマツテ、マア是ハ司法省ノ意見通リニ、現行感化法ト同ジヤウニ附則ニ改メテシマツタ、其事ハ今日ハ申上ゲマセヌ、ソレカラ其他申上ゲマシタコトハ、松村サンガ御對照ニナツテ居ルカドウカ知レマセヌガ、私ハ今度修正サレタ條文ニ付テ申上ゲタノガ多イノデアリマシテ、衆議院ノ時分ノ案ニ付テハ只今申スヤウナコトハ言フ必要ハナイノデス、是ハ御承知カ知レマセヌガ、大分變テ居ルノデ

ス、是ハ咄嗟ノ間ニ改メタンダト思フノ

デスガ、大分話ガ出タ所ハ削テシマッテ、

サウシテ條文ガ加ハテ居リマス、ソレニ付テ私ハ申上ゲタノデスガ、ドウゾ其

點ハ御諒承ヲ願ヒタイノデ、私ハ何モ

衆議院ニ於テ言フベキコトヲ態ト言ハズニ

置イテ、此處デ初メテ申上ゲタノデハナイ、

條文ヲ對照ヲ願ヒタイ、初メノ衆議院ニ出

シタ案ト、只今議題ニナツテ居ル修正ノ案

トヲ對照下サルト、私ノ趣意ガ能ク分ルト

思ヒマス

○松村義一君 ソレハ司法大臣ノ御話マデ

モナク、私ハ相當ニ見テ居ル考ヘデアリマ

ス、從ラテ例ヘバ第八條ノ二項ノ如キヤウ

ナモノニ付テハ或ハサウカ知レマセヌガ、

ナモノニ付テハ趣旨ハ初メカラ續イ

ガ、其邊尙ホ御意見ノアル所ヲ詳シク伺

テ見タイト思ヒマス、ソレカラモウ一ツ、

八條一項第二號、是ハ成程大臣ノ御話ノヤ

ガ多イ、確カニサウ思フ、大臣ニ於テ尙ホ

ガ多イ、確カニサウ思フ、大臣ガ御話

ノ御説明ヲ聽キマスト云フト、少年法ト感

化法ナルモノハ互ニ領域ヲ侵サズニヤッテ

行クト云フ方式デアルニモ拘ラズ、此法案

ガ其領域ヲ侵サムトスルヤウナ模様ガア

ル、又感化法自體トシテ考ヘテ見テモ、其

趣旨ニ異論ガアル、斯ウ云フヤウナ御話ニ

ガアツタノデアリマスガ、親權ニ付テハ現行

ノ感化法ニモ矢張リ感化院ト云フノガ親權

ガ行ハレルヤウニナツテ居ル、今度ノ第十五

條ナルモノモ殆ド同様、寧ロ親權ヲ行フ範

圍ヲ狭バメテ居ルノデヤナイカト私ハ思

フ、唯ソレガ爲ニ、八條第二項ニ付テハド

ウカト云フ御話デゴザイマスガ、此條文ノ

ニ於テハ、矢張リ親權ヲ親權者ガ行フノデ

アツ、此少年教護院ナゾガ行フモノデヤ

ナイデヤナイカ、ソレハ親權ニ餘リ關係ハ

ナイデヤナイカ、斯ウ思フノデアリマス

ガ、其邊尙ホ御意見ノアル所ヲ詳シク伺

テ見タイト思ヒマス、ソレカラモウ一ツ、

ウナ點モアラウト思ヒマス、唯「少年ニシ

テ親權者又ハ後見人ヨリ入院ノ出願アリタ

ル者」、是ハ條文ノ末ノ問題デ、法制局デ論

督ト云フヤウナコトニ付テノ規定ガ完全ナ

ラザルヲ理由トシテ申上ゲタノデアリマス

ガ、私カラドウモ立法ノ趣意ヲ說明スルコ

トハチヨット致シ兼ネルノデアリマスガ、第

九條ノ點ハ先刻申上ゲマシタガ、第九條ニ

ハ是モ衆議院ノ始メノ案ト違タノデア

リマスガ、今度ハ「性狀殊ニ不良ニシテ」

ト云フコトガ書イテアリマス、「不良ニシテ

ニナルノニハ少シ小サイ問題ト思ヒマスガ、兎

ニ角其通リニモ感ゼラレル、サウ云フヤウ

説明ヲ願ヒタイ、鑑別機關、教護院ノ御話

ガアツタノデアリマス、是モモウ少シ御話ヲ

伺ヒタイ、以上ニ付キマシテモウ少シ詳細

ニ御話ヲ承テ置キタイ

○國務大臣(小山松吉君) 御答へ致シマ

ス、教護院ノ監督ニ付テノ話ニ付テ私ノ意

見ヲ聽キタイト云フコトヲ前段ニ御述ベニ

ナツタノデスガ、私ハ立案者デナイノデス

カラ、唯條文ノ上カラ考ヘテ不完全ダト云

フコトヲ先刻申上ゲタ時分ニ第八條第一項

ノ第二號ノ文字、ソレカラ少年教護院ノ監

督ト云フヤウナコトニ付テノ規定ガ完全ナ

ラザルヲ理由トシテ申上ゲタノデアリマス

ガ、私カラドウモ立法ノ趣意ヲ說明スルコ

トハチヨット致シ兼ネルノデアリマスガ、第

九條ノ點ハ先刻申上ゲマシタガ、第九條ニ

ハ是モ衆議院ノ始メノ案ト違タノデア

リマスガ、今度ハ「性狀殊ニ不良ニシテ」

ト云フコトガ書イテアリマス、「不良ニシテ

地方長官ヨリ入院ノ申請アリタル者」、第二

號ニハ「前號ニ該當セズト雖」ト云フノデス

カラ、不良デヤナイケレドモ入ルヤウナ

者、特ニ入院ノ必要アリト認ヌタル時、是

ハ前刻詳シク申シマセヌデシタガ、特ニ入

院ノ必要アリト云フノハ性狀特ニ不良デナ

イモノデアツテモサウ云フヤウナ方ニ皆入

レルノデアリマスカラ、入院ノ必要アリト認メレバ誰デモ入レテモ宜イヤウナコトニナル、所ガ先刻申上ゲマシタヤウニ民法ノ八百八十二條デアリマス、八百八十二條ニ依リマスト、「親權ヲ行フ父又ハ母ハ必要ナル範圍内ニ於テ自ラ其子ヲ懲戒シ又ハ裁判所ノ許可ヲ得テ之ヲ懲戒場ニ入ルルコトヲ得」此規定ト此九條ノ第一項第二號ハ抵觸スル嫌ヒガアル、此民法ノ懲戒場ト云フモノハ元ノ懲治場ニ當ルモノデアリ、現行刑法ニモ刑法施行法ニ其規定ガアリマス、ソレカラ少年法施行後ハ感化院若クハ矯正院ニ當フテ居ルト云フノデ解釋ガ一定シテ居リマス、此コトヲ申上ゲテ置キマス。

○松村義一君 今ノハ一ツノ能ク御尋ネセヌトハ、キリシナイノデスガ、九條二號ハ民法ノ八百八十二條デスカト抵觸スルト云フ御話デアリマスガ、抵觸スルト云フノハドウ云フ意味デスカ、チョット其所ガ私ハ分ラヌ○國務大臣(小山松吉君) 抵觸スルト云フ意味ハ民法ノ八百八十二條ニ依リマスト、親權者ハ裁判所ノ許可ナクシテ感化院ニ入レルコトハ出來ナイノデアリマス、然ルニ此規定ニ依リマスト、内務大臣デアリマスカ、特ニ入院ノ必要アリト認メレバドウ云フ少年デアフテモ裁判所ノコトニ關係ナシ

ニ地方長官ガ入レルト云フヤウナコトハ、感化院若クハ矯正院ニ入レルコトニ付テ特ニ民法ガ子ノ權利ヲ重ンジテ裁判所ノ許可ヲ要スルヤウニシテ居ル趣旨ト抵觸スル、斯ウ申上ゲタノデアリマス。

○松村義一君 其解釋ハソレハ私ノ考ヘデハ餘リ寧ロ此條文ヲ惡意ニ御解釋ナヌタモノデヤナイカト私ハ思フ、民法八百八十ニ該當スルモノハ勿論ソレニ從フベキ二條ニ該當スルモノハアリ、サウ云フ特別ノ法律ノ規定ガアレバ、ソレニ從フノハ當然デヤナイカ、法律解釋トシテ、其他ノ場合ニ於テ地方長官ガ法ノ範圍内ニ於テ自由ニ措置出來ル範圍ニ於テ必要ト認メタル時、斯ウ解釋スルノガ當然デアラウ思ヒマス、法文ノ解釋トシテハサウ解釋スペキトモノト思ヒマス、何等ソコニ抵觸ハナイ、八百八十二條ニ該當スルモノハ何處マデモソレニ從ハナケレ見ヲ申上ゲ、更ニ又御答ヲ伺ハネバナラヌ、是ハ仕方ガナイ、討論デモ何デモナイ、大臣ノ解説ガ斯ウ云フ解釋デハ……、最モ堪能デアラセラレル小山司法大臣ノ解釋トシテハ、私ガ考ヘマシテモ餘リニ偏シテ居ラレ見テモ當然親權者ガ行フコトト解釋スルノガ當リ前、別ニ其所ニ疑問ハ起ラヌト思フ、斯ウ私ハ思フ、ソレデ更ニ其點ニ付テ伺フテ見タノデアリマス、其發案、起草ノ意味ヲ私ハ御尋ネシタノデハナイ、大臣ガ先程御話ニナッタコトニ付テ私ハ御尋ネラシタニ知ラヌモノデアリマスカラ……知ラヌモノト雖モソレハ極マリ切タ解釋デ、御堪能デアラセラレル小山司法大臣トシテハ餘リ了解ニ苦シムヤウル、無論私ノヤウナモノハ、私共法律ヲ碌

○國務大臣(小山松吉君) 是ハ先刻申上ゲタヤウニ、私ハ斯ウ云フ規定ヲ置キマスルコトハ感化院本來ノ性質ノ上カラ相當デナイト云フコトヲ申上ゲタ時ニ此二項ヲ引イタノデアリマス、何故カト申シマスト、一體感化院ト云フモノハ、在院者ニ對シテ感化院長ガ自ラ親權者トナフテ適當ナル感化

教育ヲ施スト云フコトガ主眼デアリマス、
初メカラ適當ナ施設ニ、人ヲ置クトカ、家
庭ニ委託スルト云フナラバ、是ハ感化法ノ
關スル所デナイノデアリマスカラ、ソコデ
斯ウ云フ風ニ感化院外デ所謂教護院ノ監督
ニ附スルヤウナ施設ヲスルト云フヤウナコ
トハ、是ハ感化法ノ趣旨カラ言フト、相當
デハナイト云フ風ニ見ナケレバナラヌト云
フ趣意デアリマス

○松村義一君 ソレカラモウ一つハ鑑別機

關、教護委員ノ御話デアリマスガ、ソレガ

惡イト御話ニナル理由、趣旨ヲ…

○國務大臣(小山松吉君) 是ハ少年鑑別機

關ト申シマスノハ、元ノ衆議院ニ提出シマ

シタ條文ニハ斯ウ書イテアリマス、第四條、

「道府縣ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ少年ノ保

護方法ヲ鑑別スル爲少年鑑別所ヲ設置スベ

シ但土地ノ狀況ニ依リ少年教護院ヲ附設ス

ルコトヲ得」、第二項ニ「國ハ必要ノ場所ニ

少年鑑別所ヲ設置ス」、第三項ニ「少年鑑別

所ニハ少年一時保護所ヲ附設スベシ」、斯ウ

アリマシテ、少年鑑別所ト云フモノハ、是ハ

少年審判所ト同ジヤウナモノニナリハシナ

イカ、サウスルト一方ニ於テハ少年審判所、

一方ニ於テハ少年鑑別所ノ名ノ下ニ少年ヲ

一時保護スルヤウナ場所ヲ置キ、其間鑑別

スル爲ニ長イ間人ヲ留メテ置クヤウナコト
ガ出來ル、マア人身ヲ或ル程度ニ於テ拘束
スルノデアリマスカラ、斯ウ云フ點ニ付テ
幾多ノ疑問ガアリマシテ、サウシテ此少年
デハ少年鑑別機關ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ
設置スルコトヲ得、トアルダケデアリマシ
テ、條文ハ大分割ラレテアリマス、ドウ云
フコトヲ勅令デ定メルカ分ラヌモノデアリ
マスカラ、前ノ衆議院ニ提出シタ案ノヤウ
ナモノデアルトスルト、是ハ少年審判所ノ
ヤウナモノニナルノデスカラ、其點ハ少年
鑑別機關ト名ヲ改メテ、名ヲ、鑑別所ヲ鑑
別機關トシテモ、ドウモ是ハ了解シ兼不ル
モノダト、斯ウ云フ考デアリマス

○松村義一君 教護委員ノ方ニ付テ御伺ヒ
シマス、少年教護委員、第六條
○國務大臣(小山松吉君) 此少年教護委員
ト云フモハ、少年審判所デヤッテ居ル少年
ノヤウガ、同ジモノダラウト思ヒマス、全ク
ラウガ、同ジモノニナルノモ必要デアリマセウガ、松
村サンモ御承知ノ通り、感化院ト云フモノ
ハ甚ダ無力デアリマス、私ハ内情ヲ能ク調
べテ知テ居リマス、教護法ニシテモウ少シ
教育ヲシテ效能アラシメルノモ一つノ方法
デアリマセウ、今日ノ感化院ト云フモノハ
大部分ハ餘リ效果ヲ擧ゲテ居ナイノデアリ
マス、ソレダカラ私ハ申上ゲルコトハ出來
ヌト思フ

○國務大臣(小山松吉君) 私ハ感化法ト云
スルニナルノデヤナイカ、ドウモ是モ一
體感化院ト云フモノノ本質カラ言フト、
斯ウ云フモノヲ置イテ、サウシテ教護
スルト云フコトハドウモ此案ノ組立ノ上
カラ言テハ、少シ御同意ハシ兼ネルト
云フコトヲ言テ置キマシタ、速記錄ニ
ナイカモ知レマセヌガ…所ガ今度其我ニ
ノ意見ガアッタ爲ニ保護委員デハ工合ガ惡
イト思ツタノデアリマセウ、教護委員ト名
前ヲ變ヘマシタ、趣意ハ矢張リ保護委員ダ
ラウト思フノデアリマス、少年保護司ト同
詰リ第八條第二項ニ依ル家庭ニ委託スルト
カ、或ハ少年教護委員自ラ不良少年ヲ監督
スルト云フノデアリマス、是モ少年教護委
員ト云フ制度ニ對シテハ此案ノ立前デハチ
ルコトヲ得」、第二項ニ「國ハ必要ノ場所ニ
少年鑑別所ヲ設置ス」、第三項ニ「少年鑑別
所ニハ少年一時保護所ヲ附設スベシ」、斯ウ
アリマシテ、少年鑑別所ト云フモノハ、是ハ
少年審判所ト同ジヤウナモノニナリハシナ
イカ、サウスルト一方ニ於テハ少年審判所、
一方ニ於テハ少年鑑別所ノ名ノ下ニ少年ヲ
一時保護スルヤウナ場所ヲ置キ、其間鑑別

モノニナルノデヤナイカ、ドウモ是モ一
體感化院ト云フモノノ本質カラ言フト、
スルト云フコトハドウモ此案ノ組立ノ上
カラ言テハ、少シ御同意ハシ兼ネルト
云フコトヲ言テ置キマシタ、速記錄ニ
ナイカモ知レマセヌガ…所ガ今度其我ニ
ノ意見ガアッタ爲ニ保護委員デハ工合ガ惡
イト思ツタノデアリマセウ、教護委員ト名
前ヲ變ヘマシタ、趣意ハ矢張リ保護委員ダ
ラウト思フノデアリマス、少年保護司ト同
詰リ第八條第二項ニ依ル家庭ニ委託スルト
カ、或ハ少年教護委員自ラ不良少年ヲ監督
スルト云フノデアリマス、是モ少年教護委
員ト云フ制度ニ對シテハ此案ノ立前デハチ
ルコトヲ得」、第二項ニ「國ハ必要ノ場所ニ
少年鑑別所ヲ設置ス」、第三項ニ「少年鑑別
所ニハ少年一時保護所ヲ附設スベシ」、斯ウ
アリマス、是ハ衆議院ニ提出シタ前ノ案ニ
保護司ノヤウナモノヲ設ケル趣意ノヤウデ
アリマス、是ハ衆議院ニ提出シタ前ノ案ニ
ハ少年保護委員トアッタノデス、是モ速記錄ニ
ナイコトデアリマスガ、私ハ意見ヲ述べタ
ト思テ居リマス、少年保護委員ト云フモ
ノハ、今少年法デ言フ少年保護司ト同ジ
意味デイカヌノデスカ、ドヲチノ意味デス

○國務大臣(小山松吉君) 私ハ感化法ト云
スルニナルノデヤナイカ、自ラ感化ノ本質トスル仕事ガ
アルノデアリマスカラ、其感化法ノ…是
ハ感化法ヲ改正スルト云フノデスカラ、其
スルノデアリマスカラ、幾多ノ疑問ガアリマシテ、今度ノ案
デハ少年鑑別機關ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ
設置スルコトヲ得、トアルダケデアリマシ
テ、條文ハ大分割ラレテアリマス、ドウ云
フコトヲ勅令デ定メルカ分ラヌモノデアリ
マスカラ、前ノ衆議院ニ提出シタ案ノヤウ
ナモノデアルトスルト、是ハ少年審判所ノ
ヤウナモノニナルノデスカラ、其點ハ少年
鑑別機關ト名ヲ改メテ、名ヲ、鑑別所ヲ鑑
別機關トシテモ、ドウモ是ハ了解シ兼不ル
モノダト、斯ウ云フ考デアリマス

カ

○國務大臣(小山松吉君) 私ハ感化法ト云
スルニナルノデヤナイカ、自ラ感化ノ本質トスル仕事ガ
アルノデアリマスカラ、其感化法ノ…是
ハ感化法ヲ改正スルト云フノデスカラ、其
スルノデアリマスカラ、幾多ノ疑問ガアリマシテ、今度ノ案
デハ少年鑑別機關ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ
設置スルコトヲ得、トアルダケデアリマシ
テ、條文ハ大分割ラレテアリマス、ドウ云
フコトヲ勅令デ定メルカ分ラヌモノデアリ
マスカラ、前ノ衆議院ニ提出シタ案ノヤウ
ナモノデアルトスルト、是ハ少年審判所ノ
ヤウナモノニナルノデスカラ、其點ハ少年
鑑別機關ト名ヲ改メテ、名ヲ、鑑別所ヲ鑑
別機關トシテモ、ドウモ是ハ了解シ兼不ル
モノダト、斯ウ云フ考デアリマス

カ

○國務大臣(小山松吉君) 私モ今日ノ感化事業ガ十分
ニ成績ヲ擧ゲテ居ラヌト云フ司法大臣ノ御
意味デイカヌノデスカ、ドヲチノ意味デス

意見ニハ私共同様ニ考ヘマス、併シ是ハ要
アル、尙規定ニ於テモ成ルタケ良キ成績ヲ
舉ゲルヤウナ風ニ規定ヲサレ、政府ニ於テ
モ亦相當ノ施設等ニ付テ力ヲ盡スヤウナコ
トガナケレバナラヌト思フ、今度ノ教護法
ヲ作ラウト云フ趣旨モ矢張リ同様デアフテ、
之ニ付テ適當ノ人ヲ得タイト云フ意味デ是
ヲ改正シヤウ、サウシテ感化ノ精神ヲシテ
相當ノ效果アラシメヤウ、斯ウ云フ趣旨デ
出來タモノト私ハ思フ、ソレデゴザイマス
カラ成ルベクナラバ出來得ベクンバ詰ラヌ
出来タモノト私ハ思フ、ソレデゴザイマス
細カイコトニ餘リ拘泥セズシテ、感化ノ成績
ヲ舉ゲシメル爲ニ何トカシテ斯ウ云フ法案
ノ成立ヲ致シタイト云フコトヲ衷心ヨリ考
ヘテ居ルモノデアリマス、ソレデ私今御尋
年教護委員ヲ設ケルト云フコトニ付テ司法
大臣ハ反對デアルト云フ御話デゴザイマス
ガ、此ニツノコトニ付キ反對デアルト云フ
理由ハ、ソレガ感化法ト云フ法律ノ趣旨ニ
相容レヌト云フ意味デオアリニナルノデア
リマスカ、又ハ斯ウ云フコトヲ設ケルト云フ
コトハ少年法ノ領域ニ感化法ガ這入ルト云
フ趣旨デゴザイマスカ、ドッヂノ意味デ此

○國務大臣（小山松吉君）　領域ニ這入ルト
カ、這入ラナイト云フコトハ、今チヨット
是ダケノ案デハ申上ゲルコトハ出來ナイ
ノデアリマスガ、私ガ贊成シ兼ネルト
申シマスノハ、少年鑑別機關ト云フモノ
ハドウ云フコトヲスルノカ分リ兼ネルト
ノデアリマス、ソレカラ少年教護委員ト云
フノハ感化院ノ爲ス所ノ少年感化、今日ノ此
言葉此案デ云ヘバ、少年教護、少年教護ノ
趣旨カラ云フト、少年教護委員ト云フモノハ
ドウモ必要ガアルヤウニ思ハレナイノデア
リマス、是ハ具體的ニドウ云フコトヲスル
ト云フコトガ分ラヌモノデスカラ、要スル
ニ少年保護司ノヤウナコトヲスルノデアリ
マセウ、ソレニシテモ感化法ヲ改正スル今
度ノ救護法ノ趣意、即チ感化院ト云フモノ
ヲ眼目ニシテ考ヘル立場カラ云ヘバ、ドウ
モ必要ハ認メラレナイト考フルノデアリマ
ス、要スルニ私ガ申上ゲマスノハ、少年鑑
別所ガ絶體ニ置クベキモノデナイト云フノ
デナイ、此提出ノ議案、少年教護法ノ各條
文ヲ對照シテ見テ、贊成シ兼ネル、斯ウ云
フノデアリマス、此立前デハト云フコト

○松村義一君 サウナルト私益、分ラナクナルノデスガ、此立前ト仰シヤルガ、全體ノ立前ト云フコトデアルノカ、ドウデアルノカ、一層ボンヤリシテ來マス、併シ少年鑑別機關ガドウ云フコトヲスルカ分ラヌト云フ御話デアリマス、是ハ無論先程ノ御話ノヤウナ少年法ト少年教護法ト相對立シテ、御互ノ領域ヲ侵スベキモノデナイ、侵シテハイカヌト大臣ハ仰セラレマスケレドモ、適當ナヤウニ勅令デ、内務省デ案ヲ出シテ御決メニナル、又サウ云フ少年ヲ苟クモ感化教導スルニ付イテハ、其少年ガドウ云フモノデアルカト云フコトヲ鑑別スル必要ガアルト思ヒマス、鑑別シテ初メテ教護感化ノ實ヲ擧ゲルコトガ出來ルデヤナイカト思ヒマス、從テ適當ナル鑑別所ヲ置クト云フコトガ必要デナイカ、ソレガ又感化法ヲ效果アラシメル所以デヤナイカト思ヒマス、分ラヌト云フガ、分ルヤウニ適當ノヤウニ勅令デ御決メニナレバソレデ宜クハナイカト私ハ思ヒマス、ソレカラ教護委員ニ付テモ矢張リ少年保護司ノヤウナモノデアルカモ知レマセヌガ、適當ニ是ハ勅令デ御定メニナレバ宜イ、而モ無論第一條ニ書イテアルヤウニ、本法ハ十四歳ニ満タザル者

デアリマスカラ、少年法ニ抵觸スル虞ハ
倣^フテ、或ハ保護司ノヤウナ少年教護委員
ヲ設ケルト云フコトモ宜イコトデアル、分
ラヌト云フテ無下ニ撥付ケルベキモノデナ
イト思フノデゴザイマス、ドウデゴザイマ
セウカ

能ガアリマスカ、ナカ／＼御醫者サンノ力、心理學者ノ力デ、非常ニ敏捷ナ不良少リマス、度々ノ御尋デアリマスケレドモ、テ申上ゲレバ餘程研究ヲ要スルト思テ居リマス、度々ノ御尋デアリマスケレドモ、私ハ此少年鑑別機關ト云フモノヲ設ケルト云フコトニ付テハ贊成スルト云フコトハチヨット申上ゲ兼ネルノデアリマス

○松村義一君 サウスルト今ノ少年鑑別機關ヲ設ケル、少年教護院ヲ設ケルト云フコトハ司法大臣ノ先程ノ御説明ニ依テ見ルト、ソレガ別ニ少年法ノ領域ヲ侵スト云フ譯デナクシテ、唯斯ウ云フ感化ヲスル方ニサウ云フコトヲ設ケルノガイカヌ、斯ウ云フ御話デアリマスカ、左様ニ心得テ宜シウゴザイマスカ

○國務大臣(小山松吉君) サウビタリ私ハ申シテ居リマセヌ、鑑別所ノヤリ方ニ依テハ少年法ノ少年審判所ノナスコトヲ侵スト云フト語弊ガアルカ知レマセヌガ、少年審判所ノナスコトヲ侵スガ如キ虞ガアルト云フコトヲ前回チヨット申上ゲマシタガ、ヤリヤウニ依テハドウ云フコトヲスルカ分ラヌ、少年鑑別機關ト云フモノハ其處ガ私ハ分ラヌノデスカラ、贊成シ兼ネルト云フコトヲ申上ゲマシタ

○松村義一君 益、私ニハ分ラナイ御説明ニナッテシマッタ、何デアルカ分ラヌト申シマスガ、規定ハシテ居ナイ、是カラ先キハ政府ガ勅令ヲ以テ規定スルコトデ、サウスレバ、少年法ノ領域ニ這入ラヌヤウニ規定ナサレバ宜イ、ナサルモノデアル、サウシナケレバナラヌコトデアル、ソレデ實際ガ分ラヌカラ反対デアル、斯ウ云フ御話ハ實ニ私ハ分ラヌ御意見ト申上ガル外ナク、是カラ決メルコトデアル、政府ガ御決メニナル、サウスレバ政府ニ於キマシテハ、少年法ト感化法ト云フモノト兩ミ相俟ッテ行クベキモノハ斯ウ云フ立前デ御作リニナッテ居ル、サウスレバ少年法ノ領域ニ這入ルヤウナ、サウ云フ勅令ヲ御作リニナル氣遣ヒハナイコトデアル、左様ニ思ヒマスガ、其點ハドウデスカ

○國務大臣(小山松吉君) ソレハ勅令ヲドウ云フ風ニ定メマスカ、司法省ノ方ハ、此案ニ付テノ考ヲマダ有タナイモノデゴザイマスガ、此案ニ付テドウ云フ意見ヲ有フテ居ルカト云フ御尋ネデアリマスカラ、只今ノヤウナ御答ヲシタ譯デアリマス

○松村義一君 サウ致シマスト、司法大臣ノ先程カラノ御意見ノアリマシタ所ハ、更ニモウ一遍念ヲ押シテ御尋ネシタイト思ヒ

マスガ、第八條第一項第二號、ソレカラ八條第二項、ソレカラ第四條ノ少年鑑別機關、第六條ノ少年教護委員、第九條ノ第二號、是ダケデゴザイマセウカ

○國務大臣(小山松吉君) 主ナル點トシテ
舉ゲタノハ、ソレダケデアリマス

○松村義一君 ソレダケデアリマスカ

○國務大臣(小山松吉君) ハイ

○松村義一君 先程御述ペニナツカ點ニ付テハ、私ハ其第四條ト第六條、少年鑑別機關、少年教護委員ニ付テハ先程私が申上ゲタヤウナ風ニ、別ニ司法大臣ノ反對ノ理由ハ、ドウモ分ラヌト思フノデス、ソレカラ八條二項ニ付テ別ニ是ガ親權ニ關係ヲスルモノナニ、ソレカラ九條ノ第一號、是ハドウモ先程カラ申上ゲテ居ルヤウニ、餘リ民法ノ親權ニ關係ヲシマスガ、ソレハ關係ヲシナイ、云フヤウニ此惡イ解釋ヲ、サウ云フ解釋ヲ採ル必要ハナイ、斯ウ思フ、唯問題ハ第八條ノ二項、少年ニシテ親權者又ハ後見人ヨリ入院ノ出願アル場合ハ直チニ入レナケレバナラヌ、ソレハ或ハサウ云フ點ハ悪イカモ知レマセヌガ、是ハ元ノ感化法ニモアルシ、地方長官が必要ナリト認メナケレバイカナイト云フ規定ヲ附ケレバ宜イ、

是ハ極ク條文ノ末ノモノデ、法制局ノ參事官ガ論ズル位ノ少サイ問題ト思ヒマス、其位ノ點ニ歸著スルモノト思ヒマス、尙ホ一ツ内務省ニ御意見ヲ伺ヒマス、今ノ總テノ點ニ付テ内務省ノ御意見ヲ伺ヒタイ
○説明員(富田愛次郎君) 少年教護法ノ第
四條ノ點ニ付キマシテハ、現在一二ノ府縣ニハ少年鑑別機關ト云フヤウナモノヲ設置シテヤフテ居ル所モアルノデアリマシテ、
少年教護院ニ這入ル前ニ、少年教護院ニ入ルベキモノナルカト云フヤウナコトヲ鑑
別スルノデアリマスカラ、第四條ニアリ
マシテモ差支ヘガナイト思ヒマス、寧ロサ
ウ云フ機關ガアル方ガ或ハ適當カト考ヘテ
居ルノデアリマス、況ンヤ是ハ「設置スルコ
トヲ得」トアリマシテ任意規定ニナフテ居ル
ノデアリマスカラ一向差支ヘガナイノデハ
ナイカト考ヘマス、ソレカラ第六條ノ少年
教護委員ノ點デアリマスガ、勿論此少年
教護委員ノ執行ニ當リマシテハ、現在ノ少
年保護司トノ職務ノ交錯ノ點ハ……勿論必
要デアルト思フノデアリマスガ、少年ノ保
護ヲ全クスルニ付キマシテハ、名前ハ何デ
モ宜イノデアリマスガ、矢張リ教護院カラ
出タ後ニ付テモ相當之ヲ保護シ監督スルヤ

